

名 称		平成23年度 第2回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時		平成24年2月22日(水) 10:00～12:00	
場 所		ほどがや市民活動センター (アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	小倉 敬子 委員【議 長】((公財)かわさき市民活動センター 理事長) 浅井 経子 委員【副議長】(八洲学園大学 生涯学習学科 教授) 小嶋 正夫 委員 (横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会 事務局長) 佐藤 義浩 委員 (社団法人 横浜青年会議所 政策顧問) 高見沢 実 委員 (横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授) 橋本 淳 委員 (保土ヶ谷区連合町内会長連絡会 会長)	
	保土ヶ谷区役所	地域協働課 青少年・文化・スポーツ係長 森脇 美也子 同青少年・文化・スポーツ係 橋本 幸枝	
	協働運営会議	代表 渡邊廣子	
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	アクティオ株式会社 東日本事業部長 岡部 禎之 アクティオ株式会社 施設運営事業部長 佐熊 邦弘 ほどがや市民活動センター センター長 岩堀 祐一 同 スタッフ 姉川 圭一 同 スタッフ 阿野 秀一郎 同 スタッフ 中津留 憲一	
欠 席 者		保土ヶ谷区役所 地域協働課長 日詰 雄治	

議 題	(1)平成23年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務 a 平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書について b 平成23年度下期施設利用状況について c 平成23年度下期事業実施状況について d 「ほどがや・街の学習応援隊」活動状況について (2)ほどがや市民活動センター協働運営会議から (3)評価シート記入 (4)その他 意見交換
資 料	1.平成23年度 ほどがや市民活動センター 評議会委員名簿 2.平成23年度下期 ほどがや市民活動センター 活動報告書 3.平成23年度下期 施設利用状況 4.平成23年度下期 事業実施状況 5.平成23年度下期 ほどがや・街の学習応援隊 活動状況 6.ほどがや市民活動センター 協働運営会議 資料 7.平成23年度下期 ほどがや市民活動センター 活動報告 評価シート ※追加資料:「まなぶん祭り」記録集 ※参考資料:平成23年度(上期) 第1回評議会において委員より受けたご意見に対する対策

開 会	冒頭、評議員6名全員出席頂いている旨説明を行い、第8条の2項より会議成立を報告
あいさつ	森脇係長のあいさつ 本日の評議会は、ほどがや市民活動センター評議委員から、センターの運営に関し、第3者的立場から評価・助言頂くことにより、運営方針に従った、公平かつ効果的な運営を進めていくために開催する旨説明
資料確認	資料1～7、追加資料:「まなぶん祭り」記録集
自己紹介	

議題(1)平成23年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務

a 平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書について

a-1 (資料2)「平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「場の提供」、「情報の提供」、「相談・コーディネート」を報告

＊場の提供⇒各団体の安定した活動から、部屋・機材などの利用は一定の利用を得ている。

- ・全スペース(研修室・和室・ミーティング)の利用は件数で前同比9%、人数で2%増加している。
- ・全スペースの稼働率は月別であまり変動はない。また、上期と比べてあまり前進は見られない。
- ・曜日別の利用件数は金曜日が低い。稼働率も同様。
- ・時間帯別利用傾向は、午前、午後は昨年同期と比べ増加している。一方夜間は減少している。
- ・機器利用件数は昨年同期で増えているが、貸出機器は昨年同期で減っている。

(これは団体が自前でプロジェクターを購入したためご利用が無くなったことが起因)

＊情報の提供⇒情報紙を年4回発行。メルマガを毎月15日発信している。区内相鉄線の駅4か所に配架。

- ・団体からの情報掲載相談が増えてきた。記事を掲載することで活動支援につながる事が出来た。
- ・課題はより積極的に情報収集をし、活動団体や地域の方々に情報を提供できるよう努める。

＊相談・コーディネート⇒丁寧な相談対応を行っている。その結果口コミで相談に来られる方も増えている。

一方、相談者のニーズに応じた多種多様な対応ができるよう努める。

- ・昨年同期と比べ相談件数はかなり減少した(要因は震災の影響)。
- ・相談内容は多岐にわたっている。特に学習や活動の人材・団体を探しているという相談内容は、全体の約40%を占めており、それ以外は昨年と比べ大きな変化はない。
- ・相談団体の内訳は、地域の施設・機関からの相談は増加、しかし活動団体からの相談は減少している。

委員からの質問とアワーズの回答	(質問)相談件数が減った原因は何か(資料3-7ページ)
	(回答)震災の影響で、一時的に活動が鈍っている。また、休止状態に追込まれた団体が出てきている。それに加えて団体の高齢化の中で次世代への代替わりが出来ず休止状態になった団体もある。
	(質問)全体の相談件数は出ているが、月別に出していない。数的に上記のような判断ができるという事か?
	(回答)月別の集計が全体の数字になっており、毎月の様子から傾向が見えている。 (要望)(資料3-7ページ)相談内容の表に、今後月別の件数と前年比を入れる。
(質問)相談時、情報をどこに求めているのか	
(回答)「プラネット神奈川」と「登録団体のデータ」、日々収集したデータ「困ったときの」の3つから情報を探している。	
(質問)資料に載っていないが、グループBOX、レターケースの利用はどの様になっているか	
(回答)グループBOXは40個あり全部利用されている。レターケースは72ケースあり、そのうち66ケース利用されている。	

	<p>a-2 (資料2)「平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「新たな担い手の裾野を広げる」を報告</p> <ul style="list-style-type: none"> * ボランティア入門講座⇒(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-1に基づき、3/16(金)実施予定の講座、テーマは「あなたにもできるお手伝い」を説明。定員は10名。講師:スコール家庭教育振興協会。 * 男の生き方講座⇒(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-2に基づき、4回連続講座内容を説明。追加講座を2回実施。事後グループ「Ikugei(育翁)」を立ち上げた。第1回目の活動は、3/22予定。 * 大人のハーフタイム⇒地域力推進担当と連携事業、11/2、12/22実施。第4回は、3/8実施予定(2/21現在37名応募)。連続講座でなく、各回完結。
<p>委員からの質問・意見</p>	<p>(質問)大人のハーフタイムのねらいと実施している内容とで整合性はあるのか？</p> <p>(回答)活動している団体と触れ合うことによって、自分でも地域の担い手として出来ると感じて頂き、その後活動の核となり、アワーズで活動して頂くことになればと考えている。</p> <p>(意見)・ボランティア入門講座に関し、定員が10名は少ないのではないかと。多くの区民が参加できる様な企画にしてはどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座のプログラムを作る勉強が必要。講座目標が見えないので実施内容とを関連付けることが重要。 ・「大人のハーフタイム」と「男の生き方講座」は似ている。実施方法も重複している。講座の目標と実施内容の整合性を取るよう企画することが必要。
	<p>a-3 (資料2)「平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「サークル・団体の活動・事業・運営を支援する」を報告</p> <ul style="list-style-type: none"> * 知って得する暮らしの豆知識「市民講座 囲碁講座(入門編)」⇒(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-3に基づき、予定講座内容を説明。 * YAP(ヨコハマアクションプランナー)事業⇒(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-4に基づき、事業の実施内容を説明。 * IT相談会⇒(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-5と補足資料に基づき、実施回数と内容を説明。 <ul style="list-style-type: none"> ・アワーズの役割は「安定した場の提供」で団体と共催している。 * 団体カススキルアップ講座⇒(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-6に基づき、「笑顔の会議術」の実施内容と3/2予定の「あの人に届く広報」を説明。 <ul style="list-style-type: none"> ・協働運営会議との共催。活動団体のスキルアップを目指して企画をした。 ・「笑顔の会議術」は団体内部の会議での合意形成、進行などを学んだ。3/2予定の講座は団体の広報について実施予定。現在18名の応募がきている。
<p>委員からの質問とアワーズの回答</p>	<p>(質問)IT相談会に来られる方の年齢は。笑顔の会議術の参加者17名の内訳は</p> <p>(回答)70才前後の方々が圧倒的に多い(男女問わず)。稀に子育てママも来る。</p> <p>(回答)個人の方が2名、団体が15団体15名(同団体からの複数参加はなかった)</p> <p>(質問)其々何を支援したのか</p> <p>(回答)IT相談会は活動の場を支援。YAPは、下期特にアワーズでの活動が無かった為、これといった支援は無かった。団体カススキルアップ講座は組織で運営している活動団体の方へのスキルアップの支援。個人の方でボランティア活動の連絡会、また協議会などに参加される方がいる。その様な時に役に立つと思い個人参加もOKした。</p> <p>(質問)IT相談会の相談内容は</p> <p>(回答)エクセル、ワードなどソフトの使い方、新しいソフトの選択、ソフト・ハード設定の仕方など多岐に亘っている。</p>

<p>質問と回答</p>	<p>(質問)「笑顔の会議術」ではどのような会議手法を使ったのか (回答)特別、会議手法というものは利用しなかった。会議の中で意見を出させる、また、個々が意見が言えるにはどのようにしたら良いかを中心に進めた。模擬会議を開いて実践した。また、ファシリテーターの心構えというものも習得して頂いた。</p> <hr/> <p>(質問)IT相談会で「場の提供」だけで無く、共催で事業をするという事を考えているか (回答)パワーポイントの講座を打合せ中。</p>
	<p><u>a-4</u> (資料2)「平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「交流の機会を創出する」を報告</p> <ul style="list-style-type: none"> *利用者交流会(しゃべろうかい)⇒(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-7に基づき、第7回しゃべろうかいのテーマ及び内容を説明。 *生涯学習フォーラムへの参画⇒(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-8に基づき、12月3、4日参加内容を説明。 <ul style="list-style-type: none"> ・2日間綿菓子作りを担当し、子供たちの会場への引き込みをお手伝いした。 *「まなぶん祭り」のPR作成・管理⇒(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-9に基づき、アワーズHP上の情報ページへ実行委員会の報告書や開催状況を随時アップロードした。
<p>委員からの質問とアワーズの回答</p>	<p>(質問)まなぶん祭りのHP作成・管理は専門家がやっているのか (回答)まなぶん祭りのHPが無いに等しい状況であった為、区からの委託でアワーズがHPを作成。管理・運営は、実行委員では難しい為、アワーズが行っている。HPを利用して、まなぶん祭りの情報発信を行っている。</p> <p>(質問)まなぶん祭りのHP作成・管理は委託契約か (回答)区からの委託契約</p> <p>(質問)まなぶん祭りの主催はどこか (回答)主催は実行委員会</p>
	<p><u>a-5</u> (資料2)「平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「ほどがや・街の学習応援隊事業」を報告</p> <ul style="list-style-type: none"> *街の学習応援隊 研修会・交流会⇒(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-10に基づき、研修会の内容と交流会の状況を説明。 *街の学習応援隊 PR講座、PR展示⇒下期実施計画なし(上期実施) <p>(資料5)「平成23年度下期 街の学習応援隊 活動状況」に基づき、成立状況、依頼元件数と状況を報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成立は約70%(依頼92件の内63件成立) ・町内会・自治会からの依頼は前年から増えている。 ・学校・PTAなどからの依頼は減っているが、幼稚園・親子サークルからの依頼は倍増している。
<p>質問と回答</p>	<p>(質問)依頼元の施設と応援隊との関係は (回答)施設は応援隊を利用する側で、応援隊はその施設の依頼で出向きそこで演技等を行う。</p>

<p>委員からの質問と回答</p>	<p>(質問)子供の参加を促したいとはどのような事か (回答)子供向けの応援隊の方がいる。色々体験して頂きたいと思い企画をしたが、思ったより参加が少ない。今後、増やしていきたい。</p> <p>(質問)横浜は、はまっ子の中で応援隊の活動ができるのか？川崎はできる。川崎では、「わくわくプラザ」にボランティアの方が行って子供と一緒に遊ぶ(体験する)。小学校に行って委託している団体を紹介して頂き、応援隊の利用を申入れてはどうか。 (回答)次年度の計画にとり入れます。</p>
<p>a-6 (資料2)「平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「区内の各施設との連携」「広報・周知」を報告</p> <p>*各施設との連携事業の実施⇒(資料2)「平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、施設との連携状況を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区社協、星川地域ケアプラザ、こっころと情報共有の為、毎月連絡会を実施 ・課題は区内の他施設との連携を行っていくこと。 <p>*情報紙「アワーズ」発行、メールマガジン発行、HPでの情報発信⇒(資料2)「平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、発行時期・発行部数などを説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報紙は年4回、発行部数は2000部、メルマガは毎月15日発信、HPのアクセス件数を説明。 	
<p>質問と回答</p>	<p>(質問)メルマガの発信数は (回答)260件ほど、微増 (意見)メルマガに「情報紙」発行をアナウンスしてはどうか (回答)今後載せるようにします。</p>
<p>*評価・検証と研修は、(資料2)「平成23年度下期ほどがや市民活動センター活動報告書」と(資料4)「平成23年度下期事業実施状況」-14を参照して頂く</p>	
<p>議題(2)ほどがや市民活動センター 協働運営会議から</p>	
<p>(資料6)平成23年度 ほどがや市民活動センター協働運営会議に基づき報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者交流会(しゃべろうかい)を今年度3回行った。前半2回、後半1回。第3回(2/18)は好評の内に終了した。32団体38名の出席。野菜スープを飲みながらグループ討議を行った。 ・役員会、各プロジェクトの会議といった単独の会議は集まりが少ない。それらを解消し、効率よく会議をおこなうために会議をまとめて行う事とした。この会議を3回行った。 ・まなぶん祭りに協働運営会議は1団体として実行委員に初めて参加。 ・アワーズとの共催事業「団体力スキルアップ講座」を3回実施した。 ・下期全体会を3/10、平成24年度総会を5/11実施予定報告 ・協働運営会議委員公募、義援金を3月末まで延長することを報告 	

議題(3) 評価シート記入

議題(4) その他 意見交換(全般的な質問、意見交換は各事業の説明の中で行った)

[委員からの意見]

- ・評価をコメントするだけでなく、点数評価を取り入れることも必要だと思う。
- ・登録団体数やレターケース数、グループボックス数、利用数などのアワーズの基礎的なデータを出して頂きたい。
- ・資料には成果と課題があるが、センターとして自己評価をし、課題に対する解決が見えるものしていくと良い。
- ・登録団体の中がどのような方(年齢)で構成されているのを掴むと、計画を作るときに参考になる。
- ・研修が業務の中でどのように生かされているのか表記し、発表して頂きたい。
- ・評価シートは職員の側と評議委員の側とで突合せが出来るようにしたらよい。また、担当者の意見が反映されていない。
- ・評議委員が変わった時、事前に、委員の方へアワーズの基礎データの説明をしておく事が必要。会議の一週間前に資料が送られてきても、基礎データが分からないと判断が出来ない。
- ・アワーズが開所してから5年ほど経過しているので、色々なデータの変遷をまとめると良い。
- ・アワーズは民間の会社が区から委託を受けて管理運営を行っている。民間で運営している特色を出して直営との違いを示す必要がある。

以上